

博物館展示論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 次の a～e の () について、下の語群から最も適切な語句を選び、文章を完成させなさい。(同じ記号の箇所には、同じ語句が入る。)(各2点)

1923(大正12)年9月1日、関東大地震が発生した。震災は、南関東から東海地域にまで広範囲に及び、近代化が進められていた首都圏の電気、水道、道路、鉄道等の(a)が遮断した。

多くの建物、とりわけ煉瓦造の建物は甚大な被害を受けたが、倒壊を免れたものがあった。妻木頼黄の設計による(b)は、防災設備が整えられていたことに加え、碇礎鉄構法が功を奏した。

フランク・ロイド・ライトの設計による(c)は、地震に耐えたことで知られる。栃木県で採掘された(d)などで仕上げられた内外装が特徴的な、鉄筋コンクリート造による工法は、後の災害対策の教訓となった。

地震災害からの復興において、建築部門の中心的な役割を担ったのは(e)である。

(a)は、公共公益設備、交通システムに加え、電話やインターネット等の通信設備の重要性が現在、認められる。

(b)は、1970年代から使用されなくなり解体も検討されたが、補修改修工事がなされ、現在は文化・商業施設として利活用されている。

(c)の一部は、愛知県犬山市の明治村に移築保存され、現在もみることができる。

(d)の採掘場跡は、巨大な地下空間を活かし、博物館やコンサートホールなどに使用されている。

(e)は、耐震構造学を拓き、日本で最初の鉄骨構造建築である「丸善」を手掛けた建築家である。

内田祥三、弘前れんが倉庫、横浜赤レンガ倉庫、レジリエンス、佐野利器、栗源第一薪炭供給所、帝国ホテル、庵治石、ホテル東光園、大谷石、ホテルオークラ、プラットフォーム、日華石、ライフライン、内藤多仲

2. 次の①～⑩の用語の中から5つ自由に選び、それぞれの用語について、番号を記して1行以内で簡潔に説明しなさい。(各3点)

- ① ハンズオン展示
- ② 内国勸業博覧会
- ③ 矢筈
- ④ ケルビン
- ⑤ プレスリリース
- ⑥ インスタレーション
- ⑦ シーズニング
- ⑧ ユニバーサル・デザイン
- ⑨ クーリエ
- ⑩ 巡回展

3. 近年、「ネーミングライツ」制度を導入した施設が多くみられるが、それはどのような制度か。日本国内の美術館・博物館から導入した例を1つ取り上げ、150字程度で説明しなさい。なお、過去に導入され、現在終了している例も認めるものとする。(20点)

4. 特別展や企画展において、出品される資料・作品の一部が会期中に「展示替え」されることがあらかじめ告知されている場合がある。どういう事情から、そのような一部展示替えが事前に計画されているのか、一般的な例を2つ挙げて、200字程度で説明しなさい。(25点)

5. ギャラリートークとはどのような活動か、来館者が展示を観覧する通常の場合との違いについて触れながら、「キャプション」という語を含め、250字程度で説明しなさい。(30点)